

やよい句会 令和四年 代表句

十月

秋深し野山錦に染めぬかれ

信

草の原よこぎる裾へるのこずち

晴代

あかあかと晴れし今宵の十三夜

鉄夫

胃の軽さつるりと入りしとろろ汁

雅俊

十一月

深む秋風が身に沁む通院日

信

御堂へと誘うようにしなう萩

晴代

秋光のうすき影ひく花びんかな

鉄夫

躰を糺る氷見の立山白くなり

雅俊



※12月の例会は休会しました。